





PN - JP60262476 A 19851225

PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

PD - 1985-12-25

PR - JP19840118426 19840608

OPD - 1984-06-08

TI - LIGHT-EMITTING ELEMENT

IN - NAKAMURA HIKOO EC - H01L33/00B2B

IC - H01L33/00

O WPI / DERWENT

PN - JP60262476 A 19851225 DW198607 005pp

PA - (MATU) MATSUSHITA ELEC IND CO LTD

- Light emitting element for electronic equipment - laminates frame shape insulated substrate on printed circuit substrate, and incorporates element in substrate within frame NoAbstract Dwg 5

PR - JP19840118426 19840608

IC - H01L33/00 OPD - 1984-06-08

AN - 1986-044871 [07]

@ PAJ / JPO

PN - JP60262476 A 19851225

PA - MATSUSHITA DENKI SANGYO KK

PD - 1985-12-25

AP - JP19840118426 19840608

IN - NAKAMURA HIKOO

TI - LIGHT-EMITTING ELEMENT

PURPOSE:To obtain a small-sized light-emitting element changed into a chip electrode by laminating a printed wiring substrate and a frame-shaped insulating substrate, incorporating a light-emitting element into the frame of the laminated substrates and sealing the light-emitting element by a resin.

- CONSTITUTION Typeston

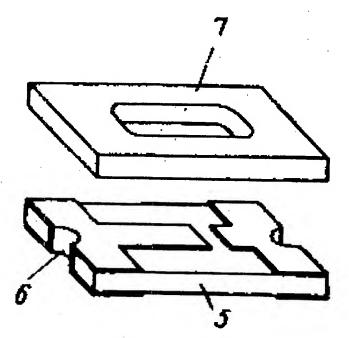
- CONSTITUTION: Tungsten through-hole electrodes 6 are formed to a ceramic substrate 5, and a frame-shaped ceramic substrate 7 is laminated onto the seramic printed wiring substrate. The upper section of a surface wiring layer 8 in the substrate 5 is plated with a field, and a light-emitting element 9 is formed onto the plating through bonding. A high heat-resistant resin 10 having excellent adhesive properties to ceramics is injected into a space on the light-emitting element 9 and cured, thus obtaining a small-sized light-emitting diode element.

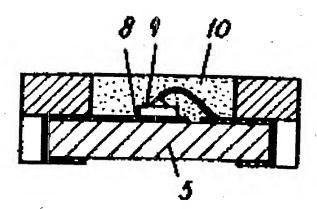
- H01L33/00











JP60262476

Publication Title:

LIGHT-EMITTING ELEMENT

Abstract:

Abstract of JP60262476

PURPOSE:To obtain a small-sized light-emitting element changed into a chip electrode by laminating a printed wiring substrate and a frame-shaped insulating substrate, incorporating a light-emitting element into the frame of the laminated and sealing the light-emitting element CONSTITUTION: Tungsten metallized through-hole electrodes 6 are formed to a ceramic substrate 5, and a frame-shaped ceramic substrate 7 is laminated onto the ceramic printed wiring substrate. The upper section of a surface wiring layer 8 in the substrate 5 is plated with a metal, and a light-emitting element 9 is formed onto the metallic plating through bonding. A high heat-resistant resin 10 having excellent adhesive properties to ceramics is injected into a space on the light-emitting element 9 and cured, thus obtaining a small-sized light-emitting diode element.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of http://v3.espacenet.com

19 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭60-262476

@Int.Cl.1

識別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和60年(1985)12月25日

H 01 L 33/00

6666-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

匈発明の名称 発光素子

②特 頤 昭59-118426

29出 願 昭59(1984)6月8日

® 4 中村 比古夫

門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

⑪出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地

砂代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 網 雷

1、発明の名称

発 光 累 子

2、特許請求の範囲

印刷配線基板と枠状絶線基板とを積層し、その 枠内部の前配印刷配線基板上に発光素子を組み込 んだ構造の発光素子。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は電子機器の小型化,高信頼化、組立自動化に適用し得る発光案子に関するものである。

従来例の構成とその問題点

発光ダイオード(以下LEDと称する)は、第 1 図に示すように、リードフレーム 1 にエポキシ 樹脂 2 をトランスファー成型したものが量産され ているが、これをチップ電極化するには半田付時 のリードフレームー樹脂間の熱膨張係数差による 断線,形状による包装路幾等の問題がある。

また第2図は従来のチップ電極されたLEDの 斜視図 a および断前図 b であり、これはセラミッ クペースの印刷配線基板3上にポンディングしたものに樹脂レンズ4を形成した後、チップ部品として切り出したものであるがこれも同様の問題を持っている。

発明の目的

本発明は信頼性かつ量産性にすぐれた小型のチップ電極化された発光素子を提供するものである。 発明の構成

との目的を選成するために本発明の発光累子は、 印刷配線基板と枠状絶線基板とを相層し、同根層 基板の枠内部に発光素子を相み込み、樹脂封止し、 とれにより、チップ電極化された小型の発光素子 を実現したものである。

実施例の説明

以下、本発明の実施例を第3図および第4図に示す。第3図は横層前の構造図、第4図は完成品の断面図である。

この実施例の基本構造は、ペースとなる印刷配線基板は、第3図に示すように、セラミック基板 5 に、タングステンメタライズのスルーホール電

2

極らを設け、そのセラミック印刷配線透板上に枠状のセラミック基板でを横層したものである。
印刷配線基板5の表面の配線層8上には、Ni およびAu またはAg のメッキを施し、この上に、例えば、UーV族化合物の発光素子9をポンディング形成する。そして、内部電極間の結線は、周知のワイヤーボンド技術で行なった後、セラミックと接着性のよい高耐熱性の樹脂10を注入硬化させれば本発明の小型発光ダイオード素子が得られる。

なお、説明の都合上とこまでは1個についてのみ記したが、実際は、第5図に示すように多連状題で製造および検査を行ない、ダイシングマシンにて、ダイシングライン11に沿って、個別チップに切断するものとする。したがって形状的には角型となり取扱いの容易なチップ部品が得られる。

発明の効果

本発明によれば、一枚のシート上に多数の発光 業子を多速化して形成し得るため、ポンディング。 歯脂注入,ならびに検査の自動化,量強化が容易 であり、品質の安定した低コストの小型発光ダイ オード素子を作ることができる。また、他のチップ型電子部品と同様の角型形状であるためユーザ ーでの相立自動化に有効なテービング包装として 提供することができる。

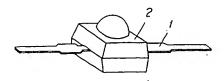
4、図面の簡単な説明

第1図は従来例の斜視図、第2図a.bは従来例の斜視図ならびに断面図、第3図および第4図は本発明の構造要部展開図および断面図、第5図はダインング前の多連状態を示す概要斜視図である。

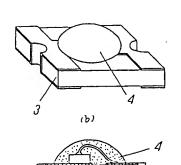
5……セラミック印刷配線基板、6……スルーホール電極部、8……メッキ形成後のポンディング用電極、9……発光素子、10……樹脂。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

第 1 図

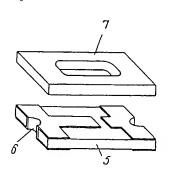


第 2 図

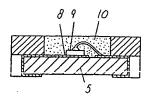


lai

第 3 図



第 4 図



第 5 図

